

# 第90回 野球大会

## 関電工が22年ぶり 20回目の優勝！



令和4年4月30日(土)から5月2日(月)、5月29日(日)の4日間、電気新聞・電設工業健康保険組合・日刊建設工業新聞社・日刊建設通信新聞社の協賛により、第90回野球大会を明治神宮外苑軟式球場で開催し、株式会社関電工が22年ぶり20度目の優勝を飾った。

この大会は昭和30年に第1回大会が行われ、昭和51年までは年2回、それ以降は年1回開催されています。一昨年の第88回大会、昨年の第89回大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2年続けて開催を中止せざるを得ませんでした。3大会振りの開催となった今大会は27チームが参加し、連日激戦が繰り広げられました。そこで、野球部世話人5名が大会を振り返ってみました。

野球部代表世話人 栗崎 拓也(栗原工業株式会社)



開会式



恒例の同点ジャンケン!!



# 世話人座談会 2022

世話人A、世話人B、世話人C、世話人O嶋、世話人OG野

**A** 今年は4年ぶりに神宮外苑軟式球場が使えたし、3年ぶりに野球大会が開催できてよかったね。

**B** 初日と2日目が雨で試合時間の変更があったけど、どうにか全日程消化できたね。

**事務局** 今大会のホームランは39本。チーム最多本塁打は関電工の11本で、個人最多は関電工の新垣さんと日本電設工業の篠原さんの3本です。

**C** 神宮に戻るとランニングホームランが増えるよね。

**OG野** 同点の試合が4試合あって、じゃんけんが盛り上がっていたな～。

**O嶋** 優勝候補の一角がじゃんけんで散っていたことに驚いたよ!?

**事務局** 決勝戦は22年ぶりの優勝を目指す関電工と、7大会連続で決勝に進出した日本電設工業との対決になりました。日本電設工業は11大会で10回目の決勝進出です。

**A** やっぱすごいな～。児島さん!

**O嶋** 大嶋だよっ☆

**B** 決勝戦の両チームは、社長まで応援に来ていて会社の盛り上がりを感じたよね。

**C** 両チームとも戦力が充実していたので、予想に反した打撃戦になったね。

**O嶋** 特に関電工の長打力は凄かった。

**OG野** 小橋選手のホームランは本当にエグかったね～。

**C** 軟球じゃありえない飛距離だったし、100mは優に超えてたね。

**A** 年々上位チームのレベルが上がっているよな。

**事務局** 今大会をもって栗崎代表世話人が野球部からご勇退されます。

**一同** 栗崎代表お疲れ様でした。(拍手)

**B** 来年はコロナを気にしない大会になるといいよね。

**C** 外苑も再開発計画であと1～2年しか使えないみたい……。

**A** また球場探すのが大変だけど、来年もがんばってくれよ、荻野君!

**OG野** あちゃちゃちゃちゃ～



開会式



アウト?! セーフ?!

## 優勝インタビュー



村松 貴仁



22年ぶりの優勝でしたのでうれしいです。新型コロナの影響で2年間大会が中止になり、練習も満足にできなかったりしましたが、会社と職場の同僚・仲間が理解してくださり、選手を練習に参加させていただきました。今大会も大勢の方々が応援に駆けつけてくださり、会社の皆さんに感謝です。そして選手にも大感謝です。次回大会も、チャレンジャーとしてがんばります。

みんなの力で最優秀選手賞を取らせていただきました。2年間大会が中止となり、本当に挫けそうになりましたが、やってきてよかったと思います。今大会では特に、前回大会の準々決勝で負けた栗原工業さんを倒すという気持ちで練習をしてきましたので、そこで勝てたことがチームを勢いづけたかと思えます。



石田 茂樹

## ホームラン賞

No.	会社名	名前	背番号	試合番号	No.	会社名	名前	背番号	試合番号
1	(株)ミライト	久保 京太	25	2	21	エクシオグループ株	山梨 駿	28	14
2	岸野電気株	上田 昇希	8	6	22	(株)弘電社	坂口 雄一②	17	17
3	三英電業株	飛田 陽輝	15	7	23	日本電設工業株	畠中 一樹	6	20
4	三英電業株	中野 拓矢	19	7	24	日本電設工業株	篠原 恭介①	10	20
5	三英電業株	山下 真樹	23	7	25	日本電設工業株	高橋 弥寿之	13	20
6	(株)ミライト	管野 継叶	21	7	26	(株)関電工	新垣 誠人①	4	13
7	扶桑電機株	山中 辰洋	10	9	27	(株)関電工	新垣 誠人②	4	18
8	扶桑電機株	江田 尚矢	4	9	28	(株)関電工	半田 昌平①	28	13
9	新生テクノス株	野村 慶太	0	4	29	(株)関電工	藤崎 大将	1	13
10	新生テクノス株	岩瀬 浩明	3	4	30	(株)関電工	石田 茂樹	10	13
11	新生テクノス株	築瀬 隆志	19	4	31	日本電設工業株	篠原 恭介②	10	26
12	(株)きんでん	石橋 瑞基	27	10	32	日本電設工業株	田中 聡真	12	24
13	(株)きんでん	溝井 竜之介	52	10	33	(株)関電工	新垣 誠人③	4	25
14	(株)弘電社	坂口 雄一①	17	11	34	(株)関電工	有馬 純成①	2	25
15	浅海電気株	高橋 伶弥①	1	12	35	日本電設工業株	篠原 恭介③	10	27
16	浅海電気株	高橋 伶弥②	1	12	36	(株)関電工	半田 昌平②	28	27
17	浅海電気株	足立 星	13	12	37	(株)関電工	小橋 大祐	25	27
18	浅海電気株	米倉 滉陽①	4	12	38	(株)関電工	山崎 将人	24	27
19	浅海電気株	米倉 滉陽②	4	12	39	(株)関電工	有馬 純成②	2	27
20	OKIクロステック株	馬場 祐亮	5	16					

**決勝戦** 令和4年5月29日(日)

チーム	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
日本電設工業(株)	1	0	1	3	1	1	0	0	0	7
(株)関電工	1	4	1	1	1	2	1	0	×	11

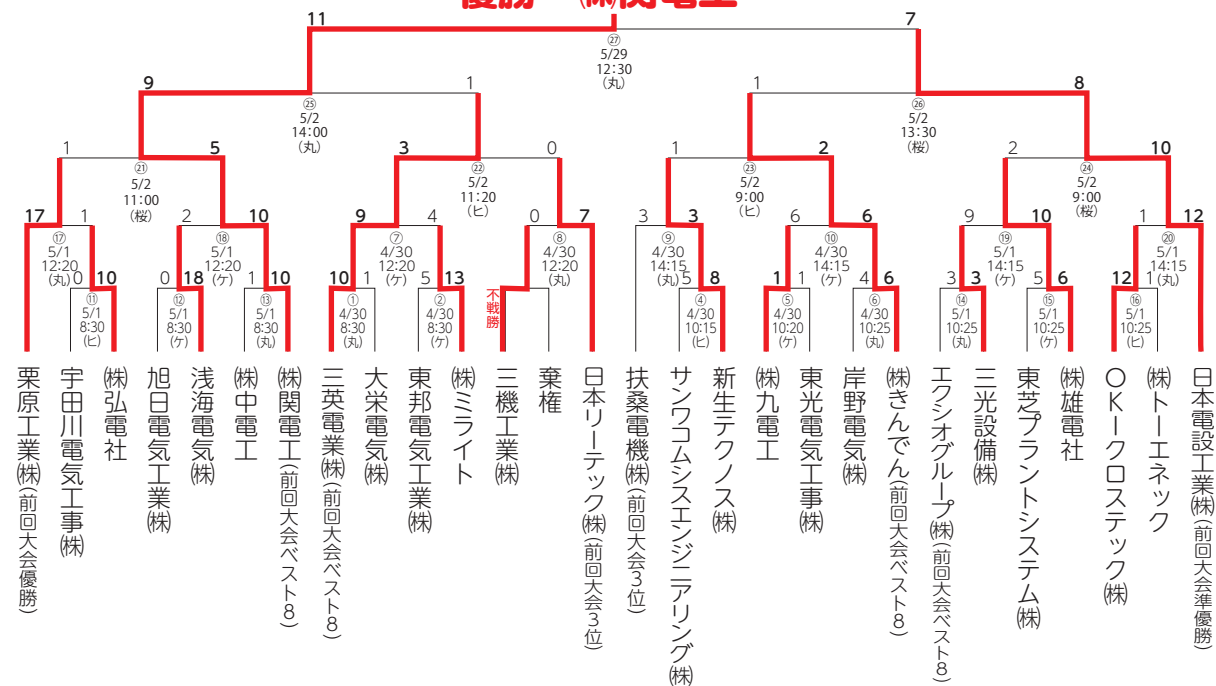
優勝	株式会社関電工
準優勝	日本電設工業株式会社
3位	株式会社きんでん・三英電業株式会社
最優秀選手	石田茂樹(株式会社関電工)
敢闘賞	田中聡真(日本電設工業株式会社)



**第90回大会結果**

**優勝 (株)関電工**

※同点はじゃんけんによる勝敗です



**過去10大会の大会結果**

実施年度	優勝	決勝スコア	準優勝	3位
平成22年度	扶桑電機株式会社	6-1	日本電設工業株式会社	株式会社協和エクシオ・日本リーテック株式会社
平成23年度	株式会社きんでん	12-4	日本電設工業株式会社	東光電気工事株式会社・株式会社東電通
平成24年度	株式会社東電通	2-1	日本電設工業株式会社	株式会社きんでん・日本リーテック株式会社
平成25年度	日本リーテック株式会社	22-9	東光電気工事株式会社	栗原工業株式会社・扶桑電機株式会社
平成26年度	日本電設工業株式会社	2-1	扶桑電機株式会社	株式会社関電工・日本リーテック株式会社
平成27年度	扶桑電機株式会社	11-1	日本電設工業株式会社	株式会社関電工・株式会社きんでん
平成28年度	扶桑電機株式会社	6-4	日本電設工業株式会社	浅海電気株式会社・株式会社ユアテック
平成29年度	扶桑電機株式会社	4-2	日本電設工業株式会社	株式会社関電工・日本リーテック株式会社
平成30年度	日本電設工業株式会社	5-2	株式会社ユアテック	株式会社関電工・日本リーテック株式会社
令和元年度	栗原工業株式会社	5-0	日本電設工業株式会社	日本リーテック株式会社・扶桑電機株式会社